

共同利用実施報告書(研究実績報告書)
(特定共同研究(A)、特定共同研究(C))

1. 課題番号 2 0 1 3 A - 0 3 (※)

※特定共同研究 A01 の場合、地震火山災害軽減研究課題番号を記入

2. 研究課題名 (和文、英文の両方をご記入ください)

和文: 地球深部の構造とダイナミクス

英文: Study of structure and dynamics of the deep interior of Earth

3. 研究代表者所属・氏名 (独)海洋研究開発機構・末次大輔

(地震研究所担当教員名) 歌田久司

4. 参加者の詳細と旅費使用概要 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	出張先	出張期間	旅費支給の有無 ※特定(A)のみ
平原 秀行	気象庁地磁気観測所 観測課・研究官	南鳥島地磁気観測点	2014 年 7 月 13 日 ～7 月 15 日	有
島村 哲也	気象庁地磁気観測所 観測課・研究官	南鳥島地磁気観測点	2014 年 7 月 13 日 ～7 月 15 日	有
井 智史	気象庁地磁気観測所 技術課・研究官	IAGA 2014 Observatory Workshop (インド ハイデラ バード市)	2014 年 10 月 7 日 ～10 月 17 日	有

5. 参加者が分担した役割 (200-400 字程度で記入してください)

役割: 陸上観測点の観測機器の保守作業と国際的地磁気観測網への貢献

内容: 海半球観測ネットワークによる、安定した継続したデータ取得を目標に、各観測点の保守作業を実施した。今年度は南鳥島における観測機器の保守と、地磁気絶対観測を行なった。参加者による保守作業により、2014 年 1 月から続いていた機器のトラブルが復旧できた。その他、本共同研究経費から旅費の支給は行なわなかったが、参加者らはタイ・ポナペ・マジュロ・トンガにおける機器の保守作業にも貢献した。また、4 年に 1 度開催される IAGA (国際地球電磁気学・超高層物理学協会) の地磁気観測所ワークショップ (今回の開催地はインドのハイデラバード) に地磁気観測所の 1 名が参加し、諸外国の地磁気観測実務者との交流と技術的な情報交換を行った。

6. 研究実績（論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無）

Suetsugu, D., Shiobara, H., 2014. Broadband Ocean-Bottom Seismology. *Ann. Rev. Earth Planet. Sci.*, 42, 27-43, DOI: 10.1146/annurev-earth-060313-054818. （記載無し）

Tada, N., Baba, K., Utada, H., 2014. Three-dimensional inversion of seafloor magnetotelluric data collected in the Philippine Sea and the western margin of the northwest Pacific Ocean. *Geochem. Geophys. Geosys.*, 15, 2895-2917, DOI: 10.1002/2014GC005421. （記載無し）